



## 令和9年度埼玉県公立高等学校入学者選抜 (主に令和7年度の中学校2年生が受検する入試)



### 面接について

令和9年度埼玉県公立高等学校入学者選抜から、全ての受検生に「面接」を実施します。

#### 「面接」で大切にすること

令和9年2月に実施する埼玉県公立高校入試から、全ての受検生に「面接」を行います。

「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の3つの資質・能力を、総合的に測りません。

「面接」は、中学校での学習活動や特別活動、部活動を含む学校生活、そのほか地域での活動などを振り返り、これまでに力を注いだこと、努力をしたこと、高校入学後や将来取り組んでみたいことなどを、自分の言葉で表現する場です。

大切なのは、どんな成果を出したか、ではなく、なぜそのことに取り組んだのか、どんな気持ちで続けてきたのか、そこから何を学び、高校ではどうしていきたいのか、ということです。

これらは、今のあなたをつくった大切な経験です。

それらの経験を、自分自身の視点で振り返り、また、これからについて自分なりに考え、伝えてください。

#### 自分の言葉で伝えることの意味

社会はこれから、ますます変化が大きく、先の読めない時代になります。

そんな時代を生きる皆さんには、自ら課題を見つけ、学び、考え、判断して行動することが必要になります。面接において、自らの言葉で自分を語ることは、その一歩となります。

樹木が全身で色を生み出して美しい花を咲かせるように、皆さんが語る1つ1つの言葉には、これまでの努力や思い、そしてこれからの未来への気持ちなど、皆さん自身があらわれます。

「面接」で自分の経験を振り返り、自分の言葉で語ることは、高校生活をより充実させ、学校で学んだことを社会に出ても生かして、未知の状況でも対応できるような力を育むための確かな土台にもなります。

#### 高校入学は、新たなスタート

高校生活は、これからの人生をつくっていく大切な時期です。

このリーフレットでは、「面接」のねらいや概要、評価などについて詳しくお伝えします。

受検に臨む皆さんだけでなく、保護者の方や関係する多くの方に読んでいただきたいと思います。

新しい入試の情報や各高校の情報は、以下の県ホームページに情報を掲載しています。随時更新予定です。

- ・「令和9年度埼玉県公立高等学校入学者選抜に関する情報」  
<https://www.pref.saitama.lg.jp/f2208/nyushi/r9nyushijyoho.html>



- ・県立学校の活性化・特色化方針【県立学校魅力発信サイト】  
<https://www.pref.saitama.lg.jp/f2219/gakkouhousin.html>



- ・「教育委員会SNS公式アカウント」(Instagram、X、Facebookなど)  
<https://www.pref.saitama.lg.jp/e2202/kyouikuSNS/touroku.html>



埼玉県公立高等学校入学者選抜情報

入試全般の情報は [こちら](#)



お問い合わせ  
埼玉県教育局県立学校部  
高校教育指導課  
048-830-6760  
a6760@pref.saitama.lg.jp



## 面接のねらい



県教育委員会では、全ての受検生に「面接」を実施することについて、これまで、次のようにお伝えしてきました。

- ・(面接で)力を注いだこと、努力をしたこと、今後取り組んでいこうとしていることは一人一人違います。そのことを自分の言葉で表現することは、自分の中学校生活を振り返り、自分を見つめ直すきっかけにもなり、また他の人に伝えることは、自分の考えを整理することにつながります。(令和6年1月公表のリーフレットより)
- ・面接では、これまでの体験を振り返り、力を注いだことや将来取り組んでみたいことなどを、自らの言葉で表現してもらいます。なぜその活動に取り組んだのか、そこから何を学び、成長できたのかを深く考え、自分の言葉で具体的に表現できる力を身に付けることで、それが入試、その先の高校生活にも繋がります。(令和6年12月公表のリーフレットより)

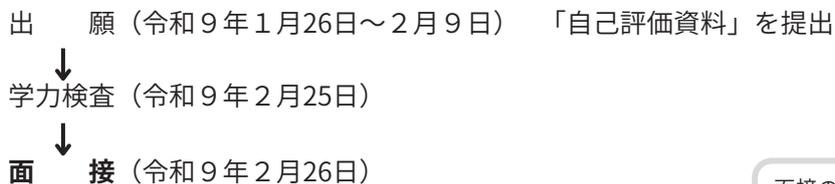
## 概要

このねらいをもとに、新しい「面接」では、初めに受検生の皆さんに、これまでの経験を振り返り、力を注いだことや将来取り組んでみたいことなどを自らの言葉で表現し、伝えてもらう時間を設定します。そして、これを「**My Voice (マイボイス)**」と呼ぶことにしました。

また、その後の「**質問・応答**」を通じて、皆さんの中にある「自ら、そして仲間とともに学び続けようとする意欲(主体的・協働的な学びの力)」「未来を前向きに切り拓いていこうとする意志(自らの人生や社会の未来を切り拓く力)」などを評価していきます。

## 面接の流れ

### ■出願から面接まで



面接の時間は、入退室の時間等も含んでいます。  
各高校の選抜実施内容は、令和7年12月に暫定版、  
令和8年5月に確定版を公表する予定です。

### ■面接当日について

[形式] 個人面接 又は 集団面接

※面接の形式は、高校によって異なります。詳細は、各高校の選抜実施内容を確認してください。

[流れ] 入室 → **My Voice (マイボイス)** → **質問・応答** → 退室  
《1分30秒～2分程度》 《3分30秒～6分程度》

※時間は、1人当たりの目安の時間です。

## 面接の内容

### (1) My Voice (マイボイス) 《1分30秒～2分程度》

- ・「面接」の最初に、受検生の皆さんから話す時間を設けます。
- ・中学校生活や学校外での活動を振り返りながら、自分の言葉で表現してください。自らの経験や将来への思いを伝える姿勢が大切です。

### (2) 質問・応答 《3分30秒～6分程度》

- ・受検生の皆さんが、My Voice (マイボイス) で表現した内容に対して、面接委員(2人以上)が質問をします。
- ・例えば、「そのとき、なぜそうしようと思ったのですか?」「他の人たちとどう力を合わせましたか?」など、考えや思いの背景を問う質問を行っていきます。
- ・その質問に対して、自らの言葉で、さらなる自分の思いや考えなどを答えてください。
- ・ここでも上手く答えることよりも、自分なりに考え、伝えることが大切です。

## My Voice (マイボイス) 「あなたの思いを、あなたの言葉で表現しよう」

自分のこれまでの振り返り、これからを表現する。My Voice (マイボイス) は、そんな自己表現の場の一つです。

難しく考える必要はありません。大切なのは、自分を見つめ、自分の言葉で表現することです。話す内容は十人十色です。言葉に詰まっても、表現がごちなくともかまいません。

### My Voice (マイボイス) の“タネ”を探してみよう(日頃から自己を探究してみよう)

自らの言葉で表現する準備として、こんな問いを立ててみてください。

- ・これまで、どんなことに取り組んできたか? 何に力を注いできたか? どんなことを積み重ねてきたか?
- ・その中で、心が動いた瞬間は何か? なぜそれが、自分にとって大切だったのだろうか?
- ・その経験を通して、自身又は仲間と、何に気づき、何を学び、何を考えたのか? それがどんな成長に繋がったか?
- ・これから、どんな高校生活を送りたいか? 自身又は仲間と、どんなことをしたいか?
- ・将来、どんな自分でありたいか? どんな人生や未来をつくらしていきたいか?



- My Voice (マイボイス) という言葉には、「自分の思いや考えを表現する」という意味を込めています。声を出すことが難しかったり、話すことに困難があったりしても、所定の手続きを通じてコミュニケーション方法の調整などを検討します。



## 自己評価資料について

(様式〇)

自己評価資料

志願校 高等学校	志願校 立	高等学校 学科等	科・系・コース (部)
志願者氏名	出身校 立	中学校	立

1 これまでの自分の体験を振り返り、力を注いだことや努力をしたこと、高等学校入学後や将来振り返りたいこと、自己PRなどについて、自分の考えを書いてください。

2 学校独自項目

### 自己評価資料とは

- ・「面接」を行う際の補助的な資料とし、委員会活動や部活動、資格取得など、学校内外での活動やその意欲などを、自らの言葉で表現して記入してもらうものです。**得点の算出には用いません。**
- ・受検生である皆さんが、自ら作成してください。自筆又はコンピュータにより作成します。
- ・キャリアパスポートや自分自身で積み重ねた資料などを参考に、これまで頑張ってきたこと、自分の興味があること、苦労したことなどを通して学んだこと将来の夢など、自分の「これまで」と「これから」を振り返り、整理しながら記入することが考えられます。
- ・文章の上手い下手や多い少ない、文字の上手い下手は、評価の対象となりません。



### 学校独自項目について

受検生は、志願する高校が「選抜実施内容」の面接の欄に「学校独自項目」を設定している場合は、その項目の内容について記載してください。

各高校では、「学校独自項目」についても評価の観点及び評価規準を定めて、得点を算出します。

※各高校の選抜実施内容は、令和7年12月に暫定版、令和8年5月に確定版を公表する予定です。

## 評価について

### どう評価されるのか

「面接」は、話の上手さや正確さを評価するものではありません。

これまでの活動や取組の実績そのものではなく、実績に至るまでの過程（プロセス）や意欲、身に付いた力、学びに向かう力などを多面的に評価します。

各高校では、事前に定めた評価の観点・評価規準に基づき、次のような視点で評価を行います。

評価の観点（共通）		評価の観点（学校独自）
<b>1 主体的・協働的な学びの力</b>	<b>2 自らの人生や社会の未来を切り拓く力</b>	<b>3（各高等学校が定める）</b>
評価規準		
これまでの自身の活動を振り返りながら、持続可能な社会の創り手となるために、主体的・協働的に学び続ける意欲を持っているか。	自分のよさや可能性を認識し、あらゆる他者を価値のある存在として尊重しながら、自らの人生や社会の未来を切り拓こうとしているか。	(各高等学校が定める)
評価		
5 <input type="checkbox"/> 「大変優れたものとして評価できる」 持続可能な社会の創り手となるために、主体的・協働的に学び続ける意欲が極めて明確で、具体性を持った、大変優れたものとして評価できる。	<input type="checkbox"/> 「大変優れたものとして評価できる」 自分のよさや可能性を十分に認識し、あらゆる他者を価値のある存在として大変よく尊重しながら、人生や社会の未来を切り拓こうとする意志が極めて明確で、具体性を持った、大変優れたものとして評価できる。	<input type="checkbox"/> 「大変優れたものとして評価できる」
4 <input type="checkbox"/> 「優れたものとして評価できる」 持続可能な社会の創り手となるために、主体的・協働的に学び続ける意欲が明確で、優れたものとして評価できる。	<input type="checkbox"/> 「優れたものとして評価できる」 自分のよさや可能性を認識し、あらゆる他者を価値のある存在として尊重しながら、人生や社会の未来を切り拓こうとする意志が明確で、優れたものとして評価できる。	<input type="checkbox"/> 「優れたものとして評価できる」
3 <input type="checkbox"/> 「評価に値する」 持続可能な社会の創り手となるために、主体的・協働的に学び続ける意欲が、評価に値する。	<input type="checkbox"/> 「評価に値する」 自分のよさや可能性を認識しようとし、人生や社会の未来を切り拓こうとする意志が、評価に値する。	<input type="checkbox"/> 「評価に値する」

### 実施及び得点の算出方法について

- ・各高校は、面接実施計画を作成し、質問内容、質問方法、評価の観点・評価規準を定め、あらかじめ十分な打合せを行います。
- ・面接委員は教諭等を充て、2人以上を1組として評価に当たります。
- ・各高校は、学科、コース等の特色に応じて、受検生の適性や意欲等を把握するために、質問内容を定めます。
- ・評価は、観点ごとに「3～5」の3段階を基本とします。
- ・面接の得点の算出については、県教育委員会及び各高校が定める規準に従います。



↓  
学力検査・調査書・面接（及び実施する場合は特色検査）によって、受検生の資質・能力を総合的に評価します。

### 受検生を支えてくださる皆さまへ

「面接」は「評価」の場であると同時に、受検生が自己理解を深め、自らの歩みを見つめ直す大切な機会です。「評価」のためだけではなく、自分らしく「生きる力」を育ててほしいと考えています。

家庭や学校等で、日頃から子供たちの言葉に耳を傾け、振り返りの対話を丁寧支援していただければと思います。

## 面接についてのQ & A



Q 人前で話すのが苦手です。それでも大丈夫ですか？

A もちろんです。スムーズに話すことよりも、自分なりに考え、伝えることが大切です。緊張するのは当たり前ですし、言葉に詰まっても大丈夫です。

Q My Voice (マイボイス) の内容は、どんなものがよいですか？

A 「正解」はありません。何を話すかは皆さんの自由です。例えば、「失敗から学んだこと」「友達との関わり」「家族との出来事」などこれまでの取組や活動、日々の生活の中で感じたこと、考えたことを振り返ったり、高校でどんな活動をしたいか考えてみたりしてみてください。

Q 委員会活動や部活動、資格取得などに一生懸命取り組み、一定の成果をあげましたが、実績は評価にならないので、自己評価資料に書いたり、面接で話したりできないのですか？

A 日々の活動に積極的に取り組み、努力を重ねたり、時に失敗したことなどによって学びを得て、その取組を工夫したり、改善したりして、成長してきたからこそその実績や成果であると思います。そのため、実績そのものは評価しませんが、それまでの過程（プロセス）や意欲、身に付いた力、学びに向かう力などを評価しますので、これまでどおり、いろいろな活動に対し積極的に取り組んでもらいたいと考えています。それらの取組を、自己評価資料に書いたり、面接で話したりすることができます。

Q 成功した体験、これといった実績があるわけではないのですが、それでも大丈夫ですか？

A もちろん、大丈夫です。面接では、成功した体験や特別な体験、目立った実績があるかどうかは関係ありません。日常の中で自分なりに考え、工夫したこと、悩みながら続けてきたことなど、ありのままのあなたの歩みや思いを、自分の言葉で表現してください。どんな経験にも、その人だけの意味があります。

Q 面接のために準備をしてもよいのですか？ その場合、どのように準備すればよいですか？

A 事前に自分の経験や考えを整理することはとても有効です。ただし、「完璧な答えを暗記する」ことではなく、準備を通して、自分自身を見つめ直すことが大切です。例えば、日頃の生活や学習の中での「気づき」や「変化」を、ノートやメモにまとめておくといでしょう。また、キャリアパスポートなどを活用してもよいかもしれません。

Q My Voice (マイボイス) のときに、志望理由を必ず話さなければいけませんか？

A 必ず話す必要はありません。志望理由がMy Voiceに含まれていても、いなくても構いません。質問・応答で面接委員から尋ねられる場合もあるかもしれませんが、その際は自分の言葉で自由に表現してください。また、高校入試の時期は、まだ将来について模索している途中であることも自然なことです。無理に整った志望理由を用意しなくても、今の自分の考えを表現し、伝えてください。

Q My Voice (マイボイス) や質問・応答の時間を超えたらいけないのですか？

A 面接の時間には限りがありますので、目安の時間を設けています。時間を超えても、評価には関係ありません。

Q かつて大きな病気を経験したことがあり、その体験について話をしたいと考えています。そのような内容でも大丈夫ですか？

A もちろんです。それがあなたのこれまでの歩みの中で大切な経験であれば、大丈夫です。ただし、無理に話す必要はありません。つらい体験やプライバシーに関わることについては、自分が「話したい」と思える範囲で大丈夫です。

Q 賞状などを持ち込んでもよいですか？

A 持ち込むことはできません。

Q 評価は、どうして「5・4・3」の3段階なのですか？

A 「面接」では、自分の言葉で語ろうとする姿勢を大切にしています。そこで、「3」を基準として、評価します。

Q スラスラと上手に話せないかもしれません。それで評価が低くなることはありますか？

A 話の上手さは、評価には関係ありません。面接で大切なのは「話し方」ではなく、「何を考えてきたか」「どんな思いをもって伝えるか」です。緊張して、言葉につまってもかまいません。

Q 選択性緘黙等で話すことが難しいのですが、どうしたらよいですか？

A 事前に中学校を通じてその旨を高校にご相談ください。事前のコミュニケーション方法の調整など、受検生にとって適切な方法を検討します。不安なことがあれば、中学校の先生に相談してください。



## 最後に

これから皆さんが歩んでいく高校生活、そしてその先の未来に向けて「面接」が一つのきっかけとなることを願っています。皆さんが、自分の言葉で“これまで”を見つめ、“これから”に向かって踏み出してください。